

VMware 導入事例

株式会社 ジェーピー情報センター

専任のIT要員を確保することが難しい中堅・中小企業にとって、システム運用の効率化は大きな課題です。サーバの監視作業などに多大な負担を強いられるようでは、ビジネスにITを活用することはできません。紙業界向けのソリューション提供を手がける株式会社 ジェーピー情報センター様(以下、ジェーピー情報センター)では、こうしたニーズに応えるべく、ホスティングサービスの提供を開始。サービス基盤にNetworldが提供する「VMware」を採用することで、サービスの運用性向上とTCO削減を実現しています。

顧客企業向けのホスティングサービスを「VMware」+ブレードサーバで展開



株式会社 ジェーピー情報センター
システムサービス部
部長
岩澤 仁 氏



株式会社 ジェーピー情報センター
システムサービス部
システム営業課 課長
田中 徳見 氏



株式会社 QUICK電子サービス
ソリューション本部
技術開発営業部
杉本 貴則 氏

独自のノウハウと経験を生かし 紙業界のIT化を支える

日本紙パルプ商事グループのIT企業として、紙業界向けの業務システムや流通システムを提供するジェーピー情報センター。システムサービス部 部長 岩澤 仁氏は「当社では約30年にわたって、紙業界に特化したビジネスを展開して参りました。この間に培った経験を活かし、お客様に最適なソリューションを提供することを心がけています」と説明する。

紙業界向けのシステムでは業界固有の処理も多く、汎用パッケージなどでは対応しきれないことも少なくない。しかし同社のソリューションには豊富なノウハウが注ぎ込まれているため、多種多様な顧客ニーズにも柔軟に対応することができる。現在では紙卸売業者や代理店など、様々な企業が同社のソリューションを活用。ユーザー数は全国で約220社にも上ることだ。これも高度な技術力と独自の強みがあればこそと言えるだろう。

ブレードサーバ+VMwareによる ホスティングサービスを開始

これまで順調に成長を続けてきた同社だが、その間にはビジネス上の課題もいくつかあったという。その一つが、近年になって急速に進んだオープンシステム化の波である。

ジェーピー情報センター システムサービス部システム3課 課長 田中 徳見氏は「以前のシステムはオフコンが主体だったため、それほど手間を掛けることなくシステム構築が行えました。しかしWindowsサーバなどのオープンシステムが主流になったことで、導入や保守に多くの工数が掛かるようになったのです」と振り返る。

オフコンの場合であれば、ハードウェアの設置や保守などの作業はメーカーが担当する。しかしWindowsサーバを利用すると、サーバの立ち上げからアプリケーション導入まですべての作業を同社が担当しなくてはならない。

またシステムのオープン化は、ユーザー企業にとっても思わぬ事態を招くことになった。Windowsサーバを業務に活用していく上では、システム監視や障害復旧などの運用管理作業が不可欠だ。オフコン時代のように、ただシステムを利用するだけというわけにはいかない。しかし中堅・中小企業の中には、専任のシステム管理者を置くことが難しいところも多い。

せっかく新たなITインフラを導入できたのに、運用負担も増えてしまうことになったのだ。

「ちょうどそんな時に、当社のITパートナーである株式会社 QUICK電子サービス(以下、QUICK電子サービス)から、ブレードサーバの提案がありました。その活用法として浮上してきたのがホスティングサービスです。お客様



株式会社 ジェーピー情報センター

本社：東京都中央区日本橋室町2-3-16三井ビル6号館
設立：1979年4月
資本金：1億円
売上高：19億円(2004年3月期)
従業員数：48名
URL：<http://www.jpico.co.jp/>

業務内容：日本紙パルプグループのIT企業。紙卸業システム(総務部)「PROTS」や統合物流システム「DTOS」など、紙業界をターゲットとしたソリューションを数多く提供している。

<パートナー概要>



株式会社 QUICK電子サービス

本社：東京都中央区新川1-6-1
設立：1983年3月
資本金：2億5000万円
売上高：79億円(2004年3月期)
従業員数：190名
URL：<http://www.qes.co.jp/>

VMware導入事例

のシステムをお預かりしてデータセンターで運用すれば、本業に集中して頂くことが可能になると考えました」と岩澤氏は語る。

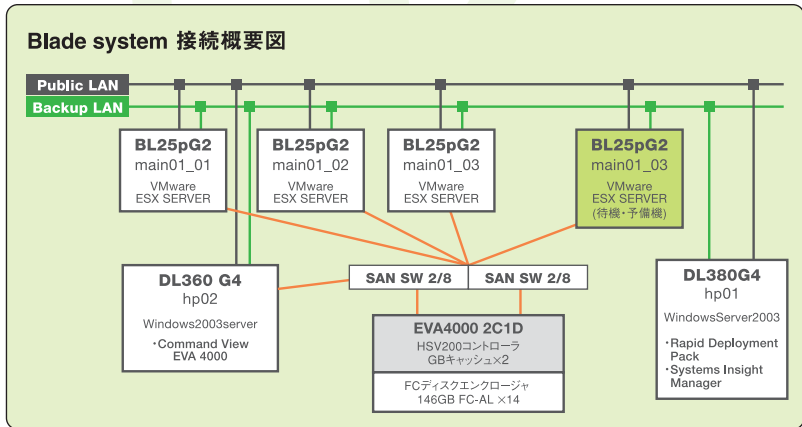
さらにもう一つの決め手となったのが、ネットワークが提供するサーバ仮想化ソリューション「VMware」である。QUICK電子サービスソリューション本部 技術開発営業部の杉本貴則氏は「VMwareなら物理的にサーバを構築する必要がありませんので、スピーディにサービスを提供できます。またハードウェアの運用等についても、当社のデータセンターでご支援が可能とご提案致しました」と語る。サービス提供に必要な要素が揃ったことから、同社ではホスティングサービスの本格展開を決断。2004年10月より、顧客企業向けの本サービスを開始した。

信頼性の高いシステム環境で顧客システムの安定稼働を実現

サービス開始当初は、システムのインフラに「VMware GSX Server」を採用。19社分のシステムを、顧客先での運用からデータセンターでのホスティングに切り替えた。

サーバ仮想化ソリューションを利用するのは初めてだったこともあり、当初は顧客向けサービスに適用して大丈夫か、懸念する声もあったという。「しかし結果的には、まったく問題はありませんでしたね。システムの信頼性に影響するようなトラブルは皆無でした」と田中氏は語る。

VMwareならではの様々なメリットも生まれている。「サーバ障害の中には、ハードウェア故障や接続不良などに起因するものが結構多い。しかしVMwareによる仮想環境なら、そもそもこうしたハードウェアにまつわる問題が起きる心配がありません」と田中氏。高品質なハードウェアとVMwareを組み合わせた方が、顧客先に安価なPCサーバを導入してシステムを構築するよりも、ずっと信頼性の高いシステムが実現できたと続ける。「またシステムの性能が出ないような場合にも、別に仮想サーバ



を立てて負荷分散を行うといった対応がすぐに行えます。物理的なサーバを利用すると、とてもこうはいきません」（岩澤氏）

今後のソリューションにもVMwareを積極的に活用

こうしたVMwareの特長は、顧客対応を担当する現場の担当者にも好意的に受け入れられることになった。岩澤氏は「導入や保守に苦労した経験がある現場としては、VMwareの良さが直感的に分かるのでしょね。商談案件でも、お客様先への個別導入よりホスティングをお勧めするケースが格段に増えました」とこやかに語る。

もともと、ホスティングサービスの引き合いが順調に伸びた結果、当初構築した環境は既に満杯になってしまった。そこで同社では第二弾として、新たなブレードサーバと「VMware ESX Server」を追加導入。2006年3月よりホスティングサービスへの適用を開始している。

「VMware ESX ServerはホストOSを必要としないので、初期導入のスピードがさらにアップしました。データセンターに設定シートを渡せば、1日～2日程度でサーバを立ち上げられます。またエンタープライズ向けの製品だけあって、システムのレスポンスが非常に早いのも魅力です」と田中氏は満足げに語る。

VMwareによって顧客サービス向上を果した同社だが、コスト面での効果も見逃

せない。岩澤氏は「遠方のお客様先に直接伺うとなると、それだけで相当額の交通費や人件費が掛かってしまいます。その点VMwareなら、こうしたコストはまったく不要。サーバ構築や保守に掛かるコストは、以前の6割程度に抑えられています」と語る。

同社では今後提供する新しいソリューションについても、VMwareの適用を図っていくとのこと。岩澤氏は「紙業界でもサプライチェーンの再構築に向けた動きが進んでおり、様々な分野で業務改革が必要になると予想されています。当社もVMwareを強力な武器として活用し、付加価値の高いソリューションを提供していきたい」と抱負を語った。

お問い合わせ先

 **Networld**
株式会社 ネットワールド

E-mail: vw-info@networld.co.jp
URL: <http://www.networld.co.jp/>

本社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-4
オリックス神保町ビル
TEL:03-5210-5031,5020
FAX:03-5210-5033

西日本事業所 〒530-0047 大阪府北区西天満4-14-3
住友生命御堂筋ビル
TEL:06-6367-5631 FAX:06-6367-5633

名古屋営業所 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1-23-3
第2アスタービル
TEL:052-588-7611 FAX:052-588-7610



この印刷物は大豆油インキ・再生紙を使用しています。

*記載されている会社名および製品名、ロゴは各社の商標または登録商標です。